

『冠詞のトリセツ』（2020年4月13日 第1刷）に以下の誤りがございました。
お詫びして訂正いたします。

p.14

誤：sb：someone の略 正：sb：somebody の略

p.16 解説の4段落目

誤：(1)は「ガラス」の意味でイメージしやすいので

正：(1)は「ガラス」の意味でイメージしにくいので

p.96 例題(1)

誤：An apple () keeps a doctor away.

正：An apple () keeps the doctor away.

p.111 解説冒頭

誤：suburb「郊外」という語はin the suburbs of ~の形式で使うことが多く、この場合は必ず“the+複数形”になります。「東京23区」というように、23区がバラバラではなく、1つの東京という都市を形成しているからです。

正：suburb「郊外」という語はin the suburbs of~という“the+複数形”の形式で使うことが多いです。「郊外」というものを+把一絡げにとらえるからです。Chofu is a suburb of Tokyo.などのように「郊外のうちの1地区」と言いたいときはa suburbとなります。

p.123 例題

誤：() say that it is going to rain in the afternoon.

正：() says that it is going to rain in the afternoon.

p.141 解説の2段落目・3行目

誤：また、選択肢の①と④に関しては、 正：また、選択肢の④に関しては、

p.157 解説の3段落目・4行目

誤：closed seas「領海」、open seas「公海」

正：the closed seas「領海」、the open seas「公海」

p.167 解説の2段落目

誤(削除)：直訳は「(数値)から成る平均値」で、このofは〈構成のof〉と呼ばれます→p.200

p.173 解説の1行目

誤：従来の文法では“他と比べる場合(対他比較)は最上級にtheが付き、同一(人)物内で比べる場合(内自比較)は最上級にtheは不要”といった説明がなされます。

正：従来の文法書では、“他と比べる場合は最上級にtheが付き、同一(人)物内で比べる場合は最上級にtheは不要”といった説明がなされます。

(対他比較)と(内自比較)を削除

第2刷より誤りを訂正いたしますとともに、読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。